この文書はトルコ語の原文を翻訳したものです。

個人データ保護法（法律第6698号）

データ主体申請書

個人データ保護法（法律第6698号。以下「個人データ保護法」）第11条は、データ主体に一定の権利を認めています。これらの権利に関する申請は、同法第13条に従い、以下の事項を記入のうえ、ご本人が直接提出するか、公証人を通じて、または配達証明付き書留で、Aksoy Araştırma Eğitim ve Danışmanlık Ltd. Şti.（以下「当社」）宛てに「Kozyatağı Mah. Gülbahar Sok., No:12/19 Kadıköy, İstanbul, Türkiye」までお送りください。その他、法の定める方法で当社に提出することもできます。

データ主体からの申請に速やかに回答できるよう、封筒に「Kişisel Veri Bilgi Talebi」（個人データに関する情報請求）と明記してください。

当社にお寄せいただいた申請には、個人データ保護法第13条第2項に基づき、請求内容に応じて当社が受領した日から30日以内に回答します。ご提出いただいた情報や書類に不備または不明な点がある場合は、申請内容を確認するためにご連絡します。

1. データ主体の本人情報および連絡先

氏名：

トルコ共和国国民識別番号（外国籍の申請者は旅券番号、または所持している場合は身分証番号）：

電話番号：

住所[1]：

メールアドレス：

当社との関係：（顧客、事業パートナー、採用応募者、元従業員、取引先企業の従業員、調査参加者、株主など）

当社内のご連絡先部署：

1 回答を書面による正式な送達で受け取ることを希望される場合は、送達先の住所をご記入ください。

2. データ主体が行使する権利の選択

（請求内容に該当する項目にチェックを入れてください。複数選択可。）

貴社が私の個人データを取り扱っているかを知りたい。貴社が私の個人データを取り扱っている場合、その取扱いに関する情報を請求する。貴社が私の個人データを取り扱っている場合、その目的と、その目的に沿って利用されているかを知りたい。私の個人データが国内外の第三者に移転されている場合、その第三者を知りたい。私の個人データが不完全または不正確に取り扱われていると考えるため、訂正を請求する。この項目を選択する場合、不正確または不完全であると考え、訂正を希望する情報・書類と、正確な内容および不足分を示す情報・書類を当社に添付提出してください。私の個人データを取り扱う理由がなくなったと考えるため、適切な方法（削除、廃棄または匿名化）での処分を請求する。不完全または不正確に取り扱われていると考える私の個人データについて、移転先の第三者においても訂正を求める。（この項目を選択する場合、不正確または不完全であると考え、訂正を希望する情報・書類と、正確な内容および不足分を示す情報・書類を当社に添付提出してください。）削除を請求した私の個人データについて、移転先の第三者においても削除を求める。貴社が取り扱った私の個人データが自動化されたシステムのみによって分析され、それにより私に不利益な結果が生じたと考える。その結果に異議を申し立てる。

3. 請求内容の説明

（法に基づく請求の内容および対象となる個人データについて、詳しくご記入ください。）

4. 添付書類

申請の根拠として提出する書類がある場合は、ご記入ください。

.....

.....

5. 申請に対する回答の受取方法を

選んでください：□ 住所への郵送を希望します。 □ メールでの送付を希望します。 □ 窓口での受取りを希望します。

6. 申請者による申告

本申請書は、申請者と当社との関係を確認し、当社が申請者の個人データを取り扱っている場合はそのすべてを特定し、申請に正確かつ法定期限内に回答できるようにするためのものです。違法または不当なデータの共有に伴う法的リスクを回避し、特に個人データの安全を確保するため、当社は本人確認および申請権限の確認に必要な追加の書類・情報（身分証明書や運転免許証の写しなど）を求める権利を留保します。申請書を通じて提供された請求に関する情報が正確もしくは最新でない場合、または権限のない者が申請した場合、当社は誤った情報または無権限の申請に起因する請求について責任を負いません。違法な申請、誤解を招く申請または誤った申請に起因する一切の責任は、申請者にあります。

データ主体 / 代理申請者[2]の氏名：

申請日：

署名：

2 他の方に代わって申請する場合は、申請権限を証する書類（データ主体の親権者・後見人であることを証する書類、委任状など）を添付してください。有効な書類として受理されるには、権限を有する機関による作成または認証を受けている必要があります。